



給食に「臨海学校メニュー」が出ました 24～28日

★新型コロナのために5年生が毎年行う宿泊体験学習の「臨海学校」が中止になったことは早々にお知らせしたところです。給食センターでは、せめて臨海学校の食事の雰囲気味わってもらおうと、2学期がスタートした週に「臨海学校のメニュー」を基にアレンジした給食を提供してくれました。なかなか忠実に再現されていて、「臨海学校に行くこんな給食を食べられるんだ～」と雰囲気を味わってくれたかと思います。特に5年生にとっては、残念な年となってしまいましたが、給食センターの粋な計らいに感謝してくれたかな～。実際のメニューを比べてみましょう。

先週の給食メニュー

24日 カレー、ご飯、エビフライ、コーンサラダ

25日 やきそば、ハンバーグ、コーンクリームスープ、クロワッサン

26日 ナムル、たまご入りビビンバ、ご飯、わかめスープ、フルーツ杏仁プリン

27日 ウイナ、スパニッシュオムレツ、ベジタブルソテー、背割りコッパ、コンソメスープ

28日 きんぴら、唐揚げ、ジャガイモとタマネギの味噌汁、ご飯、オレンジジュース

※現地2日目の朝食は給食には出ませんでした。ちなみに、ご飯と味噌汁、鮭の塩焼、納豆、野菜の浅漬、味付海苔、飲むヨーグルトです。

現地メニュー 牛乳は良寛牛乳200mlパック

【1日目の夕食】ビビンバご飯、わかめスープ、杏仁豆腐、春巻。

【2日目の昼食】焼きそば、ハンバーグ、ゆでトウモロコシ1/8、スープはありません。クロワッサン、牛乳、オレンジゼリー。

【2日目の夕食】カレーライス、エビフライ2本、コーンサラダ、フルーツヨーグルト和え。

【3日目の朝食】オムレツ、ウイナ、ゴボウサラダ、コンソメスープ、デニッシュパン、牛乳。

【3日目のお弁当】唐揚げ4個、きんぴら、カニシューマイ、ベジタブルソテー、ミニトマト、酢飯、リンゴジュース。

⇒参考に、玉小ホームページ、昨年度(2019)の学校日記をのぞいてみてください。臨海学校の食事の画像と献立が見られます。臨海学校の献立は、伊勢崎市の栄養士さんが考えて、臨海学校の調理場で毎回作っているのです。2学期が始まった24日の給食の時間に、5年生の教室で坂本、平野、清水各先生が今回のお話をしてくれました。



平野先生のお話(3組)

新型コロナ拡大でヘンリー先生、急きよ帰国

■毎日のニュースでは、新型コロナ感染者の増減が報じられていますが、ALTのヘンリー先生の母国オーストラリアでも拡大しているそうです。ヘンリー先生の家族から帰国してほしいとの強い要望があるとともに、ヘンリー先生の家族を思う優しい気持ちから、帰国を決めたと聞いています。28日の勤務を最後に帰国の準備に入り、9月7日の便で戻るそうです。でも、オーストラリアに入っても2週間は隔離されるそうで、どの国も感染予防措置は厳しいようですね。勤務最後28日の昼の放送では、子ども達にメッセージを送ってくれました。校長先生には「新型コロナが収束したら、必ず玉村に戻ってきたい。」と話してくれました。昨年度途中の任用から約10ヶ月の短い期間でしたが、ヘンリー先生の楽しい英語の授業に感謝しています。急な帰国でヘンリー先生の後任は、まだ決まっていません。決まるまでは、英語専科の日野先生が1人で授業を頑張ってくれます。



校庭改修後12年、埋まった排水マスが復活 25日

■玉小の大校庭は12年前に大改修をしています。当時の校庭を50cm掘り下げ、小砂利・砂・土を敷き詰め、仕上げにグリーンダストで覆いました。さらに、南側東西約100mに排水溝を設置し、雨水を排水マスから、南道路の下水溝に流すようにしました。ちなみに当時で1500万円。お陰で、今でも町内どこの学校と比べても水はけの良い、砂ぼこりの立たない素晴らしい校庭となっています。

■さて、22日の親子清掃の際に南側U字溝のドロ上げをしていましたが、時間内に終わらず25日にドロ上げ作業の続きをしました。正門前の中央の大きなグレーチングのマスに水が溜まっていて排水されていなかったのも、配水管の先にあるはずの排水マスの場所を掘ってみました。土の下から鉄板の蓋がされたマスが出てきたのです。その蓋を開けてみると…、中は全て土で埋まっていて、配水管にも木の根と土が2m以上も詰まっていた。何年も開けていなかったのでしょうね。公士の堀米さんに手伝ってもらって土を掘り出しました。配水管の中の根と土も引っ張りだし、何とか水が流れるように…。これできちんと排水されるようになったかな。



■学校の施設については、毎月や定期的な施設点検を行い、破損や不具合があれば修繕をしています。これまで排水設備に関しては点検項目も無く見落としがちでした。今回の作業で発見できたこんな状況は、定期的な点検が必要な箇所です。原因さえわかれば対処できることを念頭に、学校施設の細かな部分に目をやるのが大事なのです。玉小の様々な施設も老朽化が進み、下水・排水・上水道など、地中に埋まっている見えない部分もチェックが必要なのですね。

🍁玉小のシンボル「さいかち」の老木化が進んでいます🍁



★小校庭と大校庭の通り道にある「さいかちの木」は、昔から玉小のシンボルツリーとして親しまれてきました。通知票の名前も「さいかち」です。その「さいかちの木」が老木となっていることもあり、だいぶ弱ってきています。数年前は、木の根や幹から「とがった新芽」が生えてきたのですが、最近ではつきりと目にしなくなりました。画像の通り、数本の枝

も枯れて葉が出ていませんし、太い幹も割れが進み、大きな穴も開いています。今の状況だと「手当て」が必要なのかもしれませんね。木々の手入れは毎年植木屋さんにしてもらっていますが、老木の対応まではなかなかできません。玉小のシンボルの木だけに、何とかしてあげたいですね。ちなみに、針のような新芽(とげ)は、長寿会の方に聞いた話では、根元からもいでおままごとのお箸代わりにして遊んだとか。そんな遊びを子ども達にさせてあげたいですね。



こうちょうのひとりごと

◆先週火曜日の放課後、校長室の廊下で子ども達の声がありました。「ねえねえ、玉ステは外から行くんだよね～。玉小っ子に書いてあったよ～。」そんな声の後に数名の子達が児童玄関に向かう姿が。きっと新しい玉ステの教室に廊下から行こうとして校長室前で思い出したのでしょよね。玉小っ子をちゃんと読んでくれているんだな～と嬉しくなりました。反面新しいあゆみ3組の教室に来ってしまった子もいたようですね。なかなか急な環境の変化への順応は大変。でも玉小の子達はよく頑張っています…偉!

■いつもだったら第1回学校評価アンケートの集計結果をお伝えする頃かと思いますが、今回の新型コロナで学校評価をしてもらうまでの教育活動が十分にできていないこともあり、夏休み前にはアンケートを配布しないでいました。2学期となりましたが、もうしばらく玉小としての教育活動を続けてから学校評価をお願いしたいと考えています。実施の時期や評価項目等が確定しましたらお知らせします。

【確認とお願い】放課後のPTAパトロールについては、子ども達が下校している時間帯に合わせてお願いしていると思います。早すぎても遅すぎてもパトロールの意味がありませんので、よろしくご理解いただき、ご協力お願いします。